



東北大学



2016年3月24日

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構

日本初、バイオバンクで ISO 27001 の認証を取得

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 (ToMMo) の統合データベース室、バイオバンク室、試料・情報分譲室の3室は、2015年12月から2016年2月に認証審査機関ISOQAR (本社：英国) による1次、2次審査を受審し、2016年3月11日付でバイオバンクでは日本初となるISO 27001認証を取得しました。

ISO 27001は、情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の国際規格です。これにより上記3室がマネジメントしている試料と情報に対して機密性・完全性・可用性をバランスよく担保していることが認証されました。

なお、同認証の認証書は、同3月23日に東北大学で授与されました。



認定書授与の様子 (左より、荻島創一統合データベース室長、鈴木洋一試料・情報分譲室長、ISOQARジャパン谷井良成ゼネラルマネジャー、峯岸直子バイオバンク室長)

ISO 27001 認定証

【参考】

<ISO 27001について>

ISO 27001 とは、情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の国際規格で、組織が保有する情報資産のリスクに対し、適切なセキュリティ管理体制を維持していることを認証するものです。大学・研究機関においては主に、IT系部門において取得されています。

適用規格	ISO 27001:2013
認証範囲	東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 統合データベース室、バイオバンク室、試料・情報分譲室 (上記3室は機構において、データベースの構築、バイオバンクの運用・管理、他機関によるバイオバンクの試料・情報利用にかかる運用・管理全般など、バイオバンク関連業務を担います。)
登録番号	12804
登録日	2016年3月11日
認証機関	ISOQARジャパン株式会社

なお、世界最大規模のバイオバンクとして知られる英国のUK Biobankも同じ認証審査機関であるISOQARよりISO 9001、ISO 270001認証を取得しています。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構では、2015年9月にバイオバンク室がISO 9001の認証を受けています。

<東北メディカル・メガバンク計画について>

本計画は、東日本大震災を受け、被災地住民の健康不安の解消に貢献するとともに、個別化予防等の東北発の次世代医療を実現するため、ゲノム情報やオミックス情報を含むコホート研究等を実施し、被災地域の復興を推進する、国の復興事業として行われているものです。平成27年度より、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）が本計画の研究支援担当機関の役割を果たしています。

被災地に医療関係人材を派遣して地域医療の復興に貢献するとともに、15万人規模の地域住民コホートと三世代コホートを形成し、そこで得られる生体試料、健康情報、診療情報等を収集してバイオバンクを構築します。さらに、ゲノム情報、オミックス情報、診療情報等を解析することで、個別化医療等の次世代医療に結びつく成果を創出することを目指しています。また、得られた生体試料や解析成果を同意の内容等に十分留意し、個人情報保護のための匿名化等の適切な措置を施した上で、外部に提供することや、コホート調査や解析研究を行うための多様な人材の育成も行っています。

本計画の事業の実施は、東北大学東北メディカル・メガバンク機構と岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構とが連携して行っています。

【報道関係のお問い合わせ】

東北大学東北メディカル・メガバンク機構
広報戦略室長 長神 風二（ながみ ふうじ）
電話番号：022-717-7908
ファックス：022-717-7923
Eメール：f.nagami@med.tohoku.ac.jp